



「無原罪の聖母の騎士会2—ロシアのためのミッション」

教皇が世界のすべての司教と一致してロシアを私の汚れなき御心へ奉獻するよう、天主がお求めになる時がやってきました。この手段をよって、天主はロシアを救うという約束をなさいました。

聖母からシスター・ルチアへ、1929年6月13日、トウイにて

会則

1. この会則は、MIの創立者、聖マキシミリアノ・コルベの考えに従って、総則の第3章を基本とする。総則第3章は、MIの主要なミッションを以下のように表現している。「機会が訪れたとき、生活におけるさまざまな状態や条件の中で、それぞれ各自の手段に応じて、人々の回心と聖化のために、他のあらゆる有効かつ合法的な手段を用いること。これは各自の熱意と賢明さに委託されている。」

2. この会則は、「無原罪の聖母の騎士会2—ロシアのためのミッション」(以下MI2)の目的、条件、手段を述べる。

第1条 目的

MI2の目的は、聖母の汚れなき御心へロシアを奉獻するようにとのファチマの聖母の要望を実現するためになされる事業に対して、超自然かつ自然の助力を提供することである。

第2条 条件

1. すべてのMIの騎士は、以下の条件の下でMI2に属することができる。マリアの汚れなき御心へロシアを奉獻するという意向で毎日次の祈りを唱えること。**‘ああインマクラータよ、われ、世界のすべての司教様と一致して、教皇様が御身の汚れなき御心にロシアを奉獻されるよう願い奉る’**

2. さらに、騎士は次のことにつかかれている。

— MI2の活動、例えば、文章を配布し、テキストをさまざまな言語に翻訳・編集することに助力を提供する

— MI2の活動や事業に対する提案をメールアドレス info@militia-immaculatae.asia に送る

3. MI2に参加するためには、参加の宣言、氏名、在住国、Eメールアドレス、マリアの汚れなき御心へのロシアの奉獻の意向で毎日祈るという約束が記された手紙(Eメール)を

info@militia-immaculatae.asia

宛てに書かなければならぬ。

第3条 手段

1. すべての騎士は、マリアの汚れなき御心にロシアを奉獻するという意向で毎日祈る。騎士は、その意向で犠牲や苦しみをも捧げることが奨励される。
2. 騎士は、MI2の活動を進んで助ける。
3. 連絡はすべて、Eメール info@militia-immaculatae.asia を経由してなされる。
4. MI2は国際的な性格を持つため、総会を開くことはできず、それゆえに、Eメールによる連絡とは別に、中心となる連絡は次のウェブサイト www.consecrationrussia.wordpress.com MI2は国際的な性格を持つため、総会を開くことはできず、それゆえに、Eメールによる連絡とは別に、中心となる連絡は次のウェブサイト
5. ロシアでの聖ピオ十世会の使徒職との協力は何であれ、東欧の自治修道院院長または同院長によって指名された司祭の同意を得るものとする。

第4条 運営

1. 聖伝に従うMIの国際指導司祭は、同時にMI2の会長であり、そのすべての活動に責任を持つ。以下指導司祭を会長と呼ぶ。
2. 会長は、会長とともに密接な結びつきを持って働く書記を指名する。会長との協議および会長の認可の下、書記は祈りを組織し、MI2の活動を調整する。
3. MI2の本部はシンガポールの修道院とする。

第5条 保護聖人

1. MI2の中心となる保護聖女は、ファチマの1917年のご出現およびトウイの1929年のご出現で、聖母の汚れなき御心へのロシアの奉獻を要望されたファチマの聖母である。
2. 第一の保護聖人は、無原罪の聖母の騎士会の創立者、聖マキシミリアノ・コルベである。聖マキシミリアノは、ロシアでこの使徒職を行うことを望んでいたのであり、ロシア語で「無原罪の聖母の騎士」誌を発刊したいと思っていた。1931年、彼はこう書いた。*私は、聖母の旗がクレムリン宮殿の上やロシアの主要なところで掲げられるようになると信じています。一言で言えば、聖母はまことにすべての人の心の元后となられ、すべての人の心に天主の愛を、イエズスの聖心の愛をもたらすのです。そのとき、MIの目的は達成されたと言えるのです*

3. 補佐的な保護聖人は、多くの靈魂を東方正教会からカトリックに回心させた殉教者聖アンドレア(アンドレイ)・ボボラである。正教会は彼の宣教師としての使徒職を嫌ったため、彼は1657年5月16日にコサックによって残酷に殺されたのである。

「MI2—ロシアのためのミッション」会長
カール・シュテーリン神父
聖伝を守るMI指導司祭
2017年6月13日